

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎数的 I 数的推理
実務家教員	
学部・学科	行政ビジネス科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	5 2 時間
授業コマ数	2 6 コマ
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習
達成目標	題意を理解し解答することで、論理的思考力と数的処理力を養う
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 数と文字式の計算 2 方程式（方程式、不定方程式） 3 方程式（不等式、過不足算） 4 整数・計算パズル（約数と倍数） 5 整数・計算パズル（割り算の余り、整数の性質） 6 整数・計算パズル（数列、n 進法） 7 整数・計算パズル（その他、整数に関する問題） 8 科目試験第 1 回 9 割合と比（割合、比） 10 割合と比（比） 11 割合と比（売買算） 12 割合と比（濃度） 13 割合と比（濃度） 14 速さ（速さ） 15 速さ（旅人算） 16 速さ（旅人算、通過算） 17 速さ（流水算、時計算） 18 科目試験第 2 回 19 その他文章題（仕事算、給排水算） 20 その他文章題（仕事算、給排水算、ニュートン算） 21 その他文章題（年齢算） 22 その他文章題（平均算） 23 場合の数（場合の数） 24 場合の数（順列、重複組合せ、円順列）、確率（事象と確率） 25 確率（赤玉白玉・くじ引き、サイコロ・コイン、じゃんけん・期待値） 26 科目試験第 3 回
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎数的Ⅱ 判断推理
実務家教員	
学部・学科	行政ビジネス科 1年制
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	36時間
授業コマ数	18コマ
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 論理（対偶と三段論法） 2 論理（ド・モルガンの法則、論理と集合） 3 集合の要素（ベン図） 4 集合の要素（キャロル表、交わりの最小値）、順序（順序の確定） 5 順序（順序の変動） 6 順序（順序の数値条件） 7 順序（時計のずれ）、方位・位置（位置・座席表） 8 方位・位置（位置・座席表、円卓・議長席・道をへだてて） 9 科目試験1回目、方位・位置（円卓・議長席・道をへだてて） 10 方位・位置（方位・作図）、対応（対応関係） 11 対応（対応関係、スケジュール表） 12 対応（スケジュール表、対応の数値条件、やりとり） 13 勝敗（リーグ戦、トーナメント戦） 14 うそつき 15 暗号 16 推理・手順（他人の判断から判断する） 17 推理・手順（カードゲーム、石取りゲーム、てんびん） 18 科目試験2回目、推理・手順（手順）
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎数的Ⅲ 空間把握 ・ 資料解釈
実務家教員	
学部・学科	行政ビジネス科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	4 4 時間
授業コマ数	2 2 コマ
授業概要	数学的な基礎知識や空間把握能力を基に、問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習
達成目標	図形（平面・立体ともに）から物体の形状を正しく読み解く力を養う
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 回転と軌跡（直線図形の回転と軌跡、円弧を含む図形の回転と軌跡） 2 道順・一筆書き・位相（道順、一筆書き・位相）、平面構成（折り紙） 3 平面構成（図形中の図形の数、平面図形の分割、平面図形の合成） 4 正多面体・展開図（正多面体、展開図） 5 立体構成（サイコロ） 6 立体構成（積木の問題、投影図） 7 科目試験 1 回目・総復習 8 立体構成（立体の切断、回転体） 9 平面図形の計量（角度） 10 平面図形の計量（平方根の計算、三平方の定理） 11 平面図形の計量（相似比） 12 平面図形の計量（面積比） 13 科目試験 2 回目・平面図形の計量（円） 14 平面図形の計量（円、扇形と移動図形） 15 立体図形の計量（立体の体積） 16 立体図形の計量（立体の表面積・断面積） 17 立体図形の計量（立体の体積比） 18 科目試験 3 回目・総復習 19 資料解釈（実数・割合） 20 資料解釈（構成比） 21 資料解釈（指数・増加率） 22 資料解釈（相関図・三角グラフ・総復習）
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎人文科学 I 地理	
実務家教員		
学部・学科	行政ビジネス科 1 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	2 4 時間	
授業コマ数	1 2 コマ	
授業概要	気候、地形、世界各国の産業など地理の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な地理の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	世界の地形（山地と平野）
	2	世界の地形（様々な地形）
	3	世界の気候（熱帯、乾燥帯、冷帯、寒帯）
	4	世界の気候（温帯）
	5	世界の農業（アジア、ヨーロッパ）
	6	世界の農業（アメリカ、オセアニア）
	7	世界の資源
	8	世界の工業
	9	世界地誌（アジア、アフリカ）
	10	世界地誌（ヨーロッパ、アメリカ、オセアニア）
	11	生活と地域
	12	日本地誌
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎人文科学Ⅱ 日本史
実務家教員	
学部・学科	行政ビジネス科 1年制
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	28時間
授業コマ数	14コマ
授業概要	大和政権から昭和までの日本史を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な日本史の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 大和政権と大化の改新 2 平安時代 3 平安時代の文化 4 鎌倉時代 5 室町時代 6 鎌倉時代と室町時代の文化 7 封建社会の確立 8 江戸時代（武断政治、文治政治、三大改革） 9 江戸時代（幕末） 10 明治維新 11 立憲体制の確立 12 近代文化の発展 13 大正時代 14 昭和時代
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎人文科学Ⅲ 東洋史・近代史	
実務家教員		
学部・学科	行政ビジネス科 1年制	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	16時間	
授業コマ数	8コマ	
授業概要	中国・朝鮮半島の歴代王朝と第二次世界大戦以降の世界史を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な近隣国および近代歴史の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	殷、周、秦、漢
	2	魏晋南北朝、隋、唐
	3	宋、元
	4	明、清
	5	清の崩壊
	6	ヴェルサイユ体制
	7	第二次世界大戦
	8	第二次世界大戦後の世界
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎人文科学Ⅳ 古代史・西洋史	
実務家教員		
学部・学科	行政ビジネス科 1年制	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	18時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	古代およびヨーロッパ世界を中心とした世界の歴史を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な西欧社会の歴史の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	四大文明、古代ギリシャ、古代ローマ
	2	中世ヨーロッパ
	3	ルネサンス、大航海時代、宗教改革
	4	絶対主義
	5	イギリス市民革命、アメリカ独立革命
	6	フランス革命
	7	ウィーン体制
	8	19世紀のヨーロッパ
	9	第一次世界大戦
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎人文科学Ⅴ 倫理・文学・芸術
実務家教員	
学部・学科	行政ビジネス科 1年制
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	16時間
授業コマ数	8コマ
授業概要	西洋および東洋の倫理や芸術、文学を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な倫理・芸術・文学の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 古代ギリシャの思想家、経験論・合理論・観念論 2 功利主義、プラグマティズム、実存主義 3 日本の思想家、諸子百家 4 科目試験1 5 西洋文学 6 西洋音楽、西洋美術、西洋建築 7 日本文学 8 科目試験2
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎自然科学 I 生物	
実務家教員		
学部・学科	行政ビジネス科 1 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20 時間	
授業コマ数	10 コマ	
授業概要	生体から自然環境まで、幅広い生物分野を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	生体における知識を身に着ける。自然環境や生態系への理解を深める	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	生体の構造 1
	2	生体の構造 2
	3	生体内の代謝 1
	4	生体内の代謝 2
	5	生殖と発生
	6	遺伝と変異
	7	刺激の受容と反応
	8	内部環境の恒常性と調節
	9	からだの防衛反応
	10	生物の集団・生物の進化と系統
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎自然科学Ⅱ 地学	
実務家教員		
学部・学科	行政ビジネス科 1年制	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	16時間	
授業コマ数	8コマ	
授業概要	地球の内部構造から宇宙まで、幅広い地学分野を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	地球を中心とした、自然環境を理解し知識を広げる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	地球の姿と動く大地
	2	地震
	3	岩石
	4	大気と海洋
	5	気象現象、日本の四季
	6	太陽系と宇宙の構造
	7	太陽系と惑星
	8	恒星の世界
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎自然科学Ⅲ 物理	
実務家教員		
学部・学科	行政ビジネス科 1年制	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	16時間	
授業コマ数	8コマ	
授業概要	基本的な公式を覚え、運動・熱・電気などの仕組みを知る	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	運動の表現
	2	力
	3	運動方程式
	4	エネルギー
	5	運動量、熱
	6	波動
	7	電気
	8	電気と磁気、原子
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎自然科学Ⅳ 化学	
実務家教員		
学部・学科	行政ビジネス科 1年制	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	16時間	
授業コマ数	8コマ	
授業概要	物質の仕組みや物質の変化を知識として深める	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	化学理論の理解と化学各論（無機化合物）についての知識を深める	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	物質の構造 1
	2	物質の構造 2
	3	物質の状態 1
	4	物質の状態 2
	5	物質の変化 1
	6	物質の変化 2
	7	無機化合物 1
	8	無機化合物 2
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎数学 I	
実務家教員		
学部・学科	行政ビジネス科 1 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	1 6 時間	
授業コマ数	8 コマ	
授業概要	基本的な数学計算の能力を身に付け、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	数と式、二次方程式を中心に、基礎的な知識と計算技術を身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	数と式
	2	数と式
	3	数と式
	4	方程式
	5	方程式
	6	関数
	7	式と図形・不等式と領域
	8	科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎言語 I 文理・国語	
実務家教員		
学部・学科	行政ビジネス科 1 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	1 5 時間	
授業コマ数	8 コマ ※ 8 コマ目のみ 6 0 分	
授業概要	文章読解と基礎的な国語を並行して進める	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会人として求められる基礎的な読解力と国語力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	要旨把握、四字熟語
	2	要旨把握、四字熟語
	3	内容合致、ことわざ
	4	内容合致、ことわざ
	5	文書整序、文法基礎
	6	文書整序、文法基礎
	7	文章の穴埋め、敬語
	8	科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎言語Ⅱ 英語	
実務家教員		
学部・学科	行政ビジネス科 1年制	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	15時間	
授業コマ数	8コマ ※8コマ目のみ60分	
授業概要	基礎的な英文法を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務で求められる基礎的な英語力を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	be動詞・動詞、熟語
	2	疑問文・感嘆文、熟語
	3	過去形・現在進行形、熟語
	4	現在完了・過去完了、熟語
	5	長文読解、英会話、熟語
	6	長文読解、英会話、熟語
	7	長文読解、英会話、熟語
	8	科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎演習 I 数的処理
実務家教員	
学部・学科	行政ビジネス科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	40 時間
授業コマ数	20 コマ
授業概要	数的処理の基礎知識をアウトプットすることで定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 方程式、不等式 2 整数、計算パズル 1 3 整数、計算パズル 2、割合と比 1 4 割合と比 2、速さ 5 速さ、仕事算、場合の数 1 6 場合の数 2、確率 7 科目試験 1 8 論理、集合と要素の個数 9 順序 10 対応 11 位置と方位、勝ち負け 12 勝ち負け、カード、ウソの発言 13 推理・手順、暗号 14 科目試験 2 15 折り紙、回転の軌跡、正多面体、展開図 16 平面図形の構成、サイコロ 17 見取り図と投影図、積木、立体の切断、回転体、一筆書き 18 平面図形の計量 1 19 平面図形の計量 2、立体図形の計量 20 科目試験 3
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	科目試験 1・科目試験 2 の実施コマつき、授業計画と変更になることがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎演習Ⅱ 社会科学
実務家教員	
学部・学科	行政ビジネス科 1年制
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	28時間
授業コマ数	14コマ
授業概要	政治・経済の基礎知識をアウトプットすることで定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	公務に必要な社会科学分野の基礎知識を定着させる
教科書	オリジナル問題集・配布プリント
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 政治の基本理念、政治制度論 2 基本的人権① 3 基本的人権② 4 国会の機構と運営 5 内閣の機構と運営 6 裁判所の機構と運営 7 地方自治、選挙制度 8 科目試験1 9 現代の企業、現代の市場 10 国民所得 11 通貨制度と金融政策 12 財政制度と財政政策 13 貿易と外国為替、国際経済の動向 14 科目試験2
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎演習Ⅲ 人文科学	
実務家教員		
学部・学科	行政ビジネス科 1年制	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	16時間	
授業コマ数	8コマ	
授業概要	歴史・地理の基礎知識をアウトプットすることで定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	一般教養として必要な人文科学分野の基礎知識を定着させる	
教科書	スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	日本史（原始・古代・中世Ⅰ）
	2	日本史（中世Ⅱ・近世）
	3	日本史（近代以降）
	4	科目試験1・地理（気候）
	5	地理（自然環境と地図）
	6	地理（資源と産業・生活と地域）
	7	地理（世界地誌）
	8	科目試験2
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎演習Ⅳ 自然科学
実務家教員	
学部・学科	行政ビジネス科 1年制
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	16時間
授業コマ数	8コマ
授業概要	生物・地学の基礎知識をアウトプットすることで知識の定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	一般教養として必要な自然科学分野の基礎知識を定着させる
教科書	スタンダード問題集
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 生物（生体の構造、生体内の代謝） 2 生物（生殖と発生、遺伝と変異） 3 生物（刺激の受容と反応、内部環境の恒常性と調節） 4 生物（生物の集団、生物の進化と系統） 5 科目試験1・地学（地球の姿と動く大地） 6 地学（岩石、地球と人類） 7 地学（大気と海洋、太陽系と宇宙の構造） 8 科目試験2
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	応用演習 I 数的処理
実務家教員	
学部・学科	行政ビジネス科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	2 4 時間
授業コマ数	1 2 コマ
授業概要	問題演習を通じ、数的処理の応用知識を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る
教科書	実戦問題集または模擬試験
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 論理・集合の要素の個数 2 順序・対応 3 位置と方位・勝ち負け 4 カード・ゲーム・嘘の発言・推理・手順・暗号 5 折り紙・回転の軌跡・正多面体・展開図 6 平面図形の構成・サイコロ・見取り図と投影図・積木 7 立体の切断・回転体・一筆書き・平面図形の計量 1 8 平面図形の計量 2・立体図形の計量 9 方程式・不等式・整数・計算パズル 10 割合と比・速さ・仕事算 11 場合の数・確率 12 資料解釈・科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実践的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	各回の授業につき、順序を入替えすることがある。また、模擬試験を用いた演習スタイルとする場合がある。開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	応用演習Ⅱ 社会科学
実務家教員	
学部・学科	行政ビジネス科 1年制
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	28時間
授業コマ数	14コマ
授業概要	問題演習を通じ、政治・経済の応用知識を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	社会科学分野に関するより幅広い知識を習得する
教科書	スタンダード問題集
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 政治の基本理念、政治制度論 2 基本的人権① 3 基本的人権② 4 国会の機構と運営 5 内閣の機構と運営 6 地方自治、選挙制度 7 現代の企業、現代の市場 8 国民所得 9 通貨制度と金融政策 10 財政制度と財政政策 11 貿易と外国為替 12 国際経済の動向 13 社会総合① 14 社会総合②
成績評価方法 (試験実施方法)	応用的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	応用演習Ⅲ 人文科学	
実務家教員		
学部・学科	行政ビジネス科 1年制	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	問題演習を通じ、地理・歴史の応用知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	人文科学分野に関するより幅広い知識を習得する	
教科書	実戦問題集	
特記		
授業計画	1	平安時代
	2	鎌倉時代
	3	室町時代
	4	江戸時代
	5	明治時代
	6	大正時代、昭和時代
	7	科目試験 1
	8	世界の地形
	9	世界の気候
	10	世界の農業
	11	世界の資源・工業
	12	日本地誌
	13	世界地誌（アジア、アフリカ）
	14	世界地誌（ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア）
	15	科目試験 2
成績評価方法 (試験実施方法)	実践的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	各回の授業につき、順序を入替えすることがある。開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	応用演習Ⅳ 自然科学	
実務家教員		
学部・学科	行政ビジネス科 1年制	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	16時間	
授業コマ数	8コマ	
授業概要	問題演習を通じ、物理・化学の応用知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	自然科学分野に関するより幅広い知識を習得する	
教科書	実戦問題集	
特記		
授業計画	1	物理（運動の表現）
	2	物理（力）
	3	物理（エネルギー、運動量、熱）
	4	物理（波動、電気、電気と磁気、原子）
	5	化学（物質の構造）
	6	化学（物質の状態）
	7	化学（物質の変化）
	8	化学（無機化合物、生活と環境の化学）
成績評価方法 (試験実施方法)	実践的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎答案練習
実務家教員	
学部・学科	行政ビジネス科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	1 6 時間
授業コマ数	8 コマ
授業概要	模擬試験を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示する
達成目標	基礎的な内容の模擬試験で全問題の半数以上の正解を目標とする
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 基礎的なレベルの模擬試験 1 2 基礎的なレベルの模擬試験 1 の復習 3 基礎的なレベルの模擬試験 2 4 基礎的なレベルの模擬試験 2 の復習 5 基礎的～総合的なレベルの模擬試験 1 6 基礎的～総合的なレベルの模擬試験 1 の解説 7 基礎的～総合的なレベルの模擬試験 2 8 基礎的～総合的なレベルの模擬試験 2 の解説
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点ならびに課題で評価
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	総合答案練習 I
実務家教員	
学部・学科	行政ビジネス科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	8 4 時間
授業コマ数	4 2 コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	基礎的な内容から一部応用レベルを含む模擬試験で半数以上を正解する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	<p>1・2 各職種総合タイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説 3・4 各職種総合タイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説 5・6 各職種総合タイプの模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説 7・8 一部応用レベルを含むタイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説 9・10 一部応用レベルを含むタイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説 11・12 各職種総合タイプの模擬試験 4 ・当該模擬試験の解説 13・14 各職種総合タイプの模擬試験 5 ・当該模擬試験の解説 15・16 一部応用レベルを含むタイプの模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説 17・18 警察官タイプの模擬試験 ・当該模擬試験の解説 19・20 各職種総合タイプの模擬試験 6 ・当該模擬試験の解説 21・22 各職種総合タイプの模擬試験 7 ・当該模擬試験の解説 23・24 各職種総合タイプの模擬試験 8 ・当該模擬試験の解説 25・26 各職種総合タイプの模擬試験 9 ・当該模擬試験の解説 27・28 一部応用レベルを含むタイプの模擬試験 4 ・当該模擬試験の解説 29・30 海上保安学校タイプの模擬試験 ・当該模擬試験の解説 31・32 一部応用レベルを含むタイプの模擬試験 5 ・当該模擬試験の解説 33・34 一部応用レベルを含むタイプの模擬試験 6 ・当該模擬試験の解説 35・36 自衛官タイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説 37・38 自衛官タイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説 39・40 各職種総合タイプの模擬試験 1 0 ・当該模擬試験の解説 41・42 各職種総合タイプの模擬試験 1 1 ・当該模擬試験の解説</p>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点ならびに課題で評価
備考	模擬試験の順序・タイプは変更する場合がある。開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	総合答案練習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	行政ビジネス科 1年制
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	48時間
授業コマ数	24コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示する
達成目標	基礎レベルから一部応用問題を含む模擬試験において全問題の7割以上の正解を目標とする
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1・2 地方公務員タイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説 3・4 地方公務員タイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説 5・6 地方公務員タイプの模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説 7・8 地方公務員タイプの模擬試験 4 ・当該模擬試験の解説 9・10 国家公務員タイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説 11・12 国家公務員タイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説 13・14 国家公務員タイプの模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説 15・16 国家公務員タイプの模擬試験 4 ・当該模擬試験の解説 17・18 実戦的なタイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説 19・20 選択式（地方公務員 2タイプ・裁判所）模擬試験 ・当該模擬試験の解説 21・22 実戦的なタイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説 23・24 地方公務員タイプの模擬試験 5 ・当該模擬試験の解説
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価
備考	模擬試験のタイプ・順序は変更することがある。開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	直前答案練習 I
実務家教員	
学部・学科	行政ビジネス科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	1 0 8 時間
授業コマ数	5 4 コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	<p>1・2 実戦的なタイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説</p> <p>3・4 実戦的なタイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説</p> <p>5・6 実戦的なタイプの模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説</p> <p>7・8 実戦的なタイプの模擬試験 4 ・当該模擬試験の解説</p> <p>9・10 実戦的なタイプの模擬試験 5 ・当該模擬試験の解説</p> <p>11・12 実戦的なタイプの模擬試験 6 ・当該模擬試験の解説</p> <p>13・14 国家公務員タイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説</p> <p>15・16 実戦的なタイプの模擬試験 7 ・当該模擬試験の解説</p> <p>17・18 地方公務員タイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説</p> <p>19・20 地方公務員タイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説</p> <p>21・22 地方公務員タイプの模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説</p> <p>23・24 地方公務員タイプの模擬試験 4 ・当該模擬試験の解説</p> <p>25・26 国家公務員タイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説</p> <p>27・28 国家公務員タイプの模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説</p> <p>29・30 国家公務員タイプの模擬試験 4 ・当該模擬試験の解説</p> <p>31・32 国家公務員タイプの模擬試験 5 ・当該模擬試験の解説</p> <p>33・34 消防官（中級レベル）タイプの模擬試験・当該模擬試験の解説</p> <p>35・36 消防官（初級レベル）タイプの模擬試験・当該模擬試験の解説</p> <p>37・38 地方公務員タイプの模擬試験 5 ・当該模擬試験の解説</p> <p>39・40 実戦的なタイプの模擬試験 8 ・当該模擬試験の解説</p> <p>41・42 警察官タイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説</p> <p>43・44 選択式（地方公務員 2 タイプ・裁判所）模擬試験・当該模擬試験の解説</p> <p>45・46 刑務官タイプの模擬試験・当該模擬試験の解説</p> <p>47・48 実戦的なタイプの模擬試験 9 ・当該模擬試験の解説</p> <p>49・50 警察官タイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説</p> <p>51・52 実戦的なタイプの模擬試験 1 0 ・当該模擬試験の解説</p> <p>53・54 地方公務員タイプの模擬試験 6 ・当該模擬試験の解説</p>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価
備考	模擬試験のタイプ・順序は変更することがある。開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	直前答案練習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	行政ビジネス科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	1 0 2 時間
授業コマ数	5 1 コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	<p>1・2 地方公務員タイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説</p> <p>3・4 地方公務員タイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説</p> <p>5・6 地方公務員タイプの模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説</p> <p>7・8 選択式（地方公務員 2 タイプ・警察官）模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説</p> <p>9・10 国家公務員タイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説</p> <p>11・12 国家公務員タイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説</p> <p>13・14 国家公務員タイプの模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説</p> <p>15・16 国家公務員タイプの模擬試験 4 ・当該模擬試験の解説</p> <p>17・18 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説</p> <p>19・20 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説</p> <p>21・22 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説</p> <p>23・24 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験 4 ・当該模擬試験の解説</p> <p>25・26 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験 5 ・当該模擬試験の解説</p> <p>27・28 国家公務員タイプの模擬試験 5 ・当該模擬試験の解説</p> <p>29・30 選択式（地方公務員・裁判所・消防官）模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説</p> <p>31・32 選択式（地方公務員・裁判所・消防官）模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説</p> <p>33・34 選択式（地方公務員・裁判所・消防官）模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説</p> <p>35・36 選択式（地方公務員・裁判所・消防官）模擬試験 4 ・当該模擬試験の解説</p> <p>37・38 選択式（地方公務員・裁判所・消防官）模擬試験 5 ・当該模擬試験の解説</p> <p>39・40 選択式（地方公務員 2 タイプ・警察官・自衛官）模擬試験・当該模擬試験の解説</p> <p>41・42 選択式（地方公務員 2 タイプ・警察官）模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説</p> <p>43・44 選択式（地方公務員 2 タイプ・警察官）模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説</p> <p>45・46 選択式（地方公務員 2 タイプ・刑務官）模擬試験・当該模擬試験の解説</p> <p>47・48 地方公務員タイプの模擬試験・当該模擬試験の解説</p> <p>49・50 選択式（地方公務員・国家公安職）模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説</p> <p>51・52 選択式（地方公務員・国家公安職）模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説</p> <p>53・54 選択式（地方公務員・国家公安職）模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説</p>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点ならびに課題で評価
備考	模擬試験のタイプ・順序は変更することがある。開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	憲法
実務家教員	
学部・学科	行政ビジネス科1年制
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	基本的人権や統治機構など憲法の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な憲法の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 憲法総論 2 基本的人権総論 3 包括的基本権 4 法の下での平等 5 思想良心の自由、信教の自由 6 信教の自由、表現の自由 7 表現の自由 8 表現の自由、学問の自由 9 職業選択の自由 10 財産権 11 人身の自由、社会権 12 社会権、参政権、受益権 13 国会 14 内閣、裁判所 15 裁判所 16 財政、地方自治、憲法改正、天皇、平和主義 17 総合演習1 18 総合演習2 19 総合演習3 20 総合演習4
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	民法
実務家教員	
学部・学科	行政ビジネス科1年制
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	64時間
授業コマ数	32コマ
授業概要	総則や物権、債権など民法の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な民法の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 権利能力、意思能力と行為能力 2 無効・取消し 3 意思の不存在、瑕疵ある意思表示 4 代理権 5 代理行為、無権代理 6 無権代理と相続、表見代理 7 時効総説、時効の完成猶予・更新 8 取得時効、消滅時効、物権の効力 9 物権変動の一般理論、177条（対抗要件主義） 10 物権変動と登記の要否 11 即時取得制度、占有の効力 12 共有、地役権 13 担保物権総論、留置権 14 抵当権 15 復代理、質権 16 法定地上権、譲渡担保 17 債務不履行、債務不履行に基づく損害賠償 18 債権者代位権 19 詐害行為取消権（債権者取消権） 20 連帯債務、保証債務 21 債権譲渡 22 弁済、相殺 23 契約の効力（双務契約の特則）、契約の解除 24 売買（1） 25 売買（2） 26 賃貸借 27 不当利得 28 不法行為 29 婚姻、親子関係 30 相続、遺留分 31 弁済の提供、受領遅滞、解除の効果 32 贈与、請負、委任
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	行政法
実務家教員	
学部・学科	行政ビジネス科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	3 8 時間
授業コマ数	1 9 コマ
授業概要	行政作用法、行政救済法および行政組織法について行政法の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な行政法の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 行政法の一般的な法理論 2 行政法上の法律関係、行政行為の意義・分類 3 行政行為の効力・瑕疵 4 行政行為の裁量、行政行為の成立・消滅 5 行政行為の附款、行政強制 6 行政罰、行政調査 7 行政契約、行政計画、行政指導 8 行政立法、行政手続法 9 行政手続法、手続の瑕疵 10 行政機関情報公開法 11 行政救済法一般、行政不服審査法 12 行政不服審査法 13 行政事件訴訟法(取消訴訟) 14 行政事件訴訟法(取消訴訟) 15 行政事件訴訟法(その他抗告訴訟) 16 国家賠償法 17 国家賠償法、損失補償、国家補償の谷間の問題 18 行政組織法、地方自治法 19 地方自治法、総合演習
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	政治学
実務家教員	
学部・学科	行政ビジネス科1年制
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	24時間
授業コマ数	12コマ
授業概要	政治学の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な政治学の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 政治学の基礎概念、政治の概念、近代国家 2 国家論と政治体制 3 政治権力、政治的イデオロギー 4 現代社会と政治、エリート論と大衆社会論、リーダーシップ論 5 イデオロギーと政治意識、政治文化 6 マス・メディア、政治過程論、政党 7 選挙制度、投票行動 8 圧力団体、立法過程 9 政策過程 10 政治制度論、権力分立論、議院内閣制 11 大統領制、政治思想と政治理論、近代政治思想の誕生 12 社会契約説、保守主義、功利主義、行動論政治学、現代政治思想
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	行政学
実務家教員	
学部・学科	行政ビジネス科1年制
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	24時間
授業コマ数	12コマ
授業概要	行政学の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な行政学の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 行政国家と福祉国家、官房学とシュタイン行政学 2 アメリカ行政学形成の背景、政治行政二分論、正統派行政学への批判 3 科学的管理法と古典的組織理論、人間関係論、現代組織理論 4 日本の行政組織 5 日本の行政組織の作動様式、行政改革 6 官僚制論 7 公務員制度 8 政策過程概要、政策形成、政策決定 9 政策評価、予算・決算制度 10 行政責任・行政統制、オンブズマン制度 11 行政と情報管理、中央地方関係 12 日本の地方自治制度の歴史、日本の地方自治制度、地方自治の諸問題
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ミクロ経済学
実務家教員	
学部・学科	行政ビジネス科1年制
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	48時間
授業コマ数	24コマ
授業概要	ミクロ経済学の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要なミクロ経済学の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 市場の働き① 2 市場の働き② 3 市場の働き③ 4 市場の働き④ 5 市場の働き⑤ 6 市場の働き⑥ 7 家計の行動① 8 家計の行動② 9 家計の行動③ 10 家計の行動④ 11 家計の行動⑤ 12 家計の行動⑥ 13 企業の行動① 14 企業の行動② 15 企業の行動③ 16 不完全競争市場① 17 不完全競争市場② 18 不完全競争市場③ 19 公共経済学① 20 公共経済学② 21 公共経済学③ 22 国際貿易① 23 国際貿易② 24 リスクの経済学とゲーム理論
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	マクロ経済学	
実務家教員		
学部・学科	行政ビジネス科 1年制	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	36時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	マクロ経済学の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要なマクロ経済学の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	マクロ経済学の測定①
	2	マクロ経済学の測定②
	3	短期① 経済規模①
	4	短期① 経済規模②
	5	短期② 貨幣と利子率①
	6	短期② 貨幣と利子率②
	7	短期② 貨幣と利子率③
	8	短期③ 政策効果
	9	短期④ 国際マクロ経済①
	10	短期④ 国際マクロ経済②
	11	短期④ 国際マクロ経済③
	12	長期① 消費と貯蓄・投資①
	13	長期① 消費と貯蓄・投資②
	14	長期② 経済成長①
	15	長期② 経済成長②
	16	長期③ 物価と失業率
	17	長期④ 物価と資産
	18	マクロ経済政策
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価する。	
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財政学	
実務家教員		
学部・学科	行政ビジネス科1年制	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	24時間	
授業コマ数	12コマ	
授業概要	財政学の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な財政学の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	財政の基礎
	2	財政の基礎
	3	財政制度①
	4	財政制度②
	5	租税
	6	租税
	7	公債
	8	公債
	9	日本財政史
	10	地方財政
	11	地方財政
	12	財政事情の国際比較
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	社会学	
実務家教員		
学部・学科	行政ビジネス科1年制	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	18時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	社会学の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な社会学の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	社会学史
	2	社会学史、社会学の基礎概念
	3	社会学の基礎概念
	4	社会集団、地域社会
	5	経営と労働
	6	社会学の現代的課題
	7	社会調査
	8	総まとめ1
	9	総まとめ2
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	会計学
実務家教員	
学部・学科	行政ビジネス科1年制
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	15時間
授業コマ数	8コマ ※8コマ目のみ60分
授業概要	会計学の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な会計学の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 簿記の目的、取引・仕訳・勘定・試算表、等 2 株式会社の資本、決算 3 企業会計の基礎、一般原則、損益会計 4 資産会計 5 負債会計、純資産、財務諸表 6 財表分析、連結財務諸表、為替換算会計、税効果会計、企業結合会計 7 会計学問題演習 8 会計学問題演習
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	社会事情
実務家教員	
学部・学科	行政ビジネス科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	1 5 時間
授業コマ数	8 コマ ※ 8 コマ目のみ 6 0 分
授業概要	社会事情の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な社会事情の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 教育、文化、科学、情報 2 警察、消防、環境、防災 3 食料農業、観光、交通 4 労働、経済 5 国際組織、国際会議 6 世界情勢、各国動向 7 社会事情問題演習 8 社会事情問題演習
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経済事情	
実務家教員		
学部・学科	行政ビジネス科1年制	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	15時間	
授業コマ数	8コマ ※8コマ目のみ60分	
授業概要	経済事情の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な経済事情の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	日本経済事情①
	2	日本経済事情②
	3	日本経済事情③
	4	日本経済事情④
	5	世界経済事情①
	6	世界経済事情②
	7	経済事情問題演習
	8	経済事情問題演習
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	国際関係	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 1 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	1 5 時間	
授業コマ数	8 コマ ※ 8 コマ目のみ 6 0 分	
授業概要	国際関係の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な国際関係の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	国際関係理論
	2	国際機関1
	3	国際機関2
	4	戦後国際政治史
	5	各地域の政治情勢と紛争、国際経済
	6	地域機構、日本外交史
	7	国際関係問題演習
	8	国際関係問題演習
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経営学
実務家教員	
学部・学科	行政ビジネス科1年制
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	15時間
授業コマ数	8コマ ※8コマ目のみ60分
授業概要	経営学の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な経営学の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 伝統的管理論、人間関係論 2 モチベーション論、近代組織論 3 現代企業論、経営組織論 4 経営戦略論 5 日本的経営、生産管理・品質管理 6 イノベーション論・製品開発論、マーケティング、企業財務論 7 経営学問題演習 8 経営学問題演習
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	教育学	
実務家教員		
学部・学科	行政ビジネス科 1 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	1 5 時間	
授業コマ数	8 コマ ※ 8 コマ目のみ 6 0 分	
授業概要	教育学の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な教育学の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	教育の意義と目的
	2	教育の思想と歴史
	3	教育の制度
	4	教育の実践と展開
	5	諸外国の教育制度と実践
	6	生涯学習社会における教育の課題
	7	教育学問題演習
	8	教育学問題演習
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	心理学	
実務家教員		
学部・学科	行政ビジネス科1年制	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	15時間	
授業コマ数	8コマ ※8コマ目のみ60分	
授業概要	心理学の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な心理学の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	心理学とは、性格、感情
	2	欲求と動機づけ、感覚・知覚・認知
	3	学習と記憶、知能・創造性・思考
	4	人間環境と集団、対人交流とコミュニケーション
	5	発達概念、適応とストレス
	6	面接・見立て・心理療法、脳と心
	7	心理学問題演習
	8	心理学問題演習
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	商法	
実務家教員		
学部・学科	行政ビジネス科 1 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	1 5 時間	
授業コマ数	8 コマ ※ 8 コマ目のみ 6 0 分	
授業概要	商法の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な商法の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	株式会社の設立
	2	株式会社の設立
	3	株式
	4	機関
	5	機関
	6	株式会社の資金調達
	7	商法問題演習
	8	科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	上級専門科目 上級答案練習 I 専門科目
実務家教員	
学部・学科	行政ビジネス科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60 時間
授業コマ数	30 コマ
授業概要	模擬試験と解答解説の学習を通じ、専門科目の知識を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	各本試験に即した模擬試験で、出題科目の知識を定着させる
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1・2 専門模擬試験 1 3・4 専門模擬試験 2 5・6 専門模擬試験 3 7・8 専門模擬試験 4 9・10 専門模擬試験 5 11・12 専門模擬試験 6 13・14 専門模擬試験 7 15・16 専門模擬試験 8 17・18 専門模擬試験 9 19・20 専門模擬試験 10 21・22 専門模擬試験 11 23・24 専門模擬試験 12 25・26 専門模擬試験 13 27・28 専門模擬試験 14 29・30 専門模擬試験 15
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価
備考	2 コマで 1 回分の模擬試験を実施する。開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	上級専門科目 上級答案練習Ⅱ 専門科目
実務家教員	
学部・学科	行政ビジネス科 1年制
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	模擬試験と解答解説の学習を通じ、専門科目の知識を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	各本試験に即した模擬試験で、出題科目の知識を定着させる
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1・2 専門模擬試験 1 3・4 専門模擬試験 2 5・6 専門模擬試験 3 7・8 専門模擬試験 4 9・10 専門模擬試験 5 11・12 専門模擬試験 6 13・14 専門模擬試験 7 15・16 専門模擬試験 8 17・18 専門模擬試験 9 19・20 専門模擬試験 10 21・22 専門模擬試験 11 23・24 専門模擬試験 12 25・26 専門模擬試験 13 27・28 専門模擬試験 14 29・30 専門模擬試験 15
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価
備考	2コマで1回分の模擬試験を実施する。開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	上級専門科目 上級答案練習Ⅲ 教養科目	
実務家教員		
学部・学科	行政ビジネス科 1年制	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	模擬試験と解答解説の学習を通じ、教養科目の知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	各本試験に即した模擬試験で、出題科目の知識を定着させる	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1	教養模擬試験 1
	2	教養模擬試験 2
	3	教養模擬試験 3
	4	教養模擬試験 4
	5	教養模擬試験 5
	6	教養模擬試験 6
	7	教養模擬試験 7
	8	教養模擬試験 8
	9	教養模擬試験 9
	10	教養模擬試験 10
	11	教養模擬試験 11
	12	教養模擬試験 12
	13	教養模擬試験 13
	14	教養模擬試験 14
	15	教養模擬試験 15
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	上級専門科目 上級答案練習Ⅳ 教養科目	
実務家教員		
学部・学科	行政ビジネス科 1年制	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ（1コマ120分）	
授業概要	模擬試験と解答解説の学習を通じ、教養科目の知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	各本試験に即した模擬試験で、出題科目の知識を定着させる	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1	教養模擬試験 1
	2	教養模擬試験 2
	3	教養模擬試験 3
	4	教養模擬試験 4
	5	教養模擬試験 5
	6	教養模擬試験 6
	7	教養模擬試験 7
	8	教養模擬試験 8
	9	教養模擬試験 9
	10	教養模擬試験 10
	11	教養模擬試験 11
	12	教養模擬試験 12
	13	教養模擬試験 13
	14	教養模擬試験 14
	15	教養模擬試験 15
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価	
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	専門科目総合演習
実務家教員	
学部・学科	行政ビジネス科1年制
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	科目別答練の実施や既習科目の総復習を通じ、専門科目の知識の定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	専門試験で合格点を上回る知識の定着
教科書	科目別答案練習、テキスト、実戦問題集
特記	
授業計画	1 専門科目総合演習1(法律系科目①) 2 専門科目総合演習2(経済系科目①) 3 専門科目総合演習3(行政系科目①) 4 専門科目総合演習4(法律系科目②) 5 専門科目総合演習5(経済系科目②) 6 専門科目総合演習6(行政系科目②) 7 専門科目総合演習7(法律系科目③) 8 専門科目総合演習8(経済系科目③) 9 専門科目総合演習9(行政系科目③) 10 専門科目総合演習10(法律系科目④) 11 専門科目総合演習11(経済系科目④) 12 専門科目総合演習12(行政系科目④) 13 専門科目総合演習13(専門全科目①) 14 専門科目総合演習14(専門全科目②) 15 専門科目総合演習15(専門全科目③)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験得点を中心に取り組み姿勢等を含め総合的に評価
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員時事対策	
実務家教員		
学部・学科	行政ビジネス科 1 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30 時間	
授業コマ数	15 コマ	
授業概要	国内問題・国際問題問わず幅広いジャンルの社会時事を学ぶ	
授業の進め方	1項目15分程度で、重要な時事ワードを軸に内容を解説し、問題演習を行う	
達成目標	現代社会の幅広い知識を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	時事（政治分野 1）
	2	時事（政治分野 2）
	3	時事（政治分野 3）
	4	時事（経済分野 1）
	5	時事（経済分野 2）
	6	時事（文化 1）
	7	時事（文化 2）
	8	時事（文化 3）
	9	時事（科学 1）
	10	時事（科学 2）
	11	時事（科学 3）
	12	時事（科学 4）
	13	時事（科学 5）
	14	時事（国際問題 1）
	15	時事（国際問題 2）
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストの得点を中心に取り組み姿勢を含めて総合的に評価	
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員時事研究	
実務家教員		
学部・学科	行政ビジネス科1年制	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	就職先に関連する社会的ニュースを考察する	
授業の進め方	新聞やインターネットの情報を取得し、調査の上で意見・感想をまとめる	
達成目標	就職先およびその業務に関わる知識を身につける	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	情報収集と考察 テーマ1
	2	情報収集と考察 テーマ2
	3	情報収集と考察 テーマ3
	4	情報収集と考察 テーマ4
	5	情報収集と考察 テーマ5
	6	情報収集と考察 テーマ6
	7	情報収集と考察 テーマ7
	8	情報収集と考察 テーマ8
	9	情報収集と考察 テーマ9
	10	情報収集と考察 テーマ10
	11	情報収集と考察 テーマ11
	12	情報収集と考察 テーマ12
	13	情報収集と考察 テーマ13
	14	情報収集と考察 テーマ14
	15	情報収集と考察 テーマ15
成績評価方法 (試験実施方法)	提出物の内容を評価	
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザイン I
実務家教員	
学部・学科	行政ビジネス科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30 時間
授業コマ数	15 コマ
授業概要	公務員の全般的な仕事を理解し、公務に必要なマナー・応対力・一般常識の基礎を学ぶ
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う
達成目標	公務員の業務内容を理解し、公務員を目指す者として相応しい学生になる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 公務員全般ガイダンス 1 2 公務員全般ガイダンス 2 3 公務員全般ガイダンス 3 4 公務員全般ガイダンス 4 5 公務員全般ガイダンス 5 6 公務員全般ガイダンス 6 7 公務員受験ガイダンス 8 入退室の基本 9 自己分析 10 志望官庁の研究 11 面接カード作成 12 模擬面接試験シミュレーション 13 模擬筆記試験（効果測定） 14 模擬面接試験（効果測定） 15 まとめ・検証
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定の結果を軸に、提出物や授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅡ	
実務家教員		
学部・学科	行政ビジネス科 1年制	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	面接試験に向けての準備作業法を修得し、春試験2試験種に向けた面接指導を行う	
授業の進め方	前半は座学中心になるが、後半は本番形式の模擬面接を実施する	
達成目標	自然な会話の中で好印象を与え、自分らしさを表現できる	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	公官庁研究・エントリーシート・面接カード作成 1
	2	公官庁研究・エントリーシート・面接カード作成 2
	3	公官庁研究・エントリーシート・面接カード作成 3
	4	面接講義
	5	面接効果測定
	6	模擬面接Ⅰ準備
	7	模擬面接Ⅰ準備
	8	模擬面接Ⅰ 1
	9	模擬面接Ⅰ 2
	10	模擬面接Ⅰ 3
	11	模擬面接Ⅱ準備
	12	模擬面接Ⅱ準備
	13	模擬面接Ⅱ 1
	14	模擬面接Ⅱ 2
	15	模擬面接Ⅱ 3
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定の結果を軸に、提出物や授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員キャリアデザイン I
実務家教員	
学部・学科	行政ビジネス科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	90 時間
授業コマ数	45 コマ
授業概要	効果測定を通して面接の基礎を修得し、7試験種に向けた面接指導を行う
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で面接を実施・見学、修正を行い反復する
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 面接講義 2 面接効果測定準備 3 面接効果測定 4-6 模擬面接（試験種Ⅰ） 7-9 模擬面接（試験種Ⅰ） 10-12 模擬面接準備（試験種Ⅱ） 13-15 模擬面接（試験種Ⅱ） 16-18 模擬面接準備（試験種Ⅲ） 19-21 模擬面接（試験種Ⅲ） 22-24 模擬面接準備（試験種Ⅳ） 25-27 模擬面接（試験種Ⅳ） 28-30 模擬面接準備（試験種Ⅴ） 31-33 模擬面接（試験種Ⅴ） 34-36 模擬面接準備（試験種Ⅵ） 37-39 模擬面接（試験種Ⅵ） 40-42 模擬面接準備（試験種Ⅶ） 43-45 模擬面接（試験種Ⅶ）
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定および授業への参加姿勢で評価
備考	模擬面接準備・模擬面接には集団討論対策も含む。開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	行政ビジネス学科 1年制
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	120時間
授業コマ数	60コマ
授業概要	10試験種に向けた面接指導を行う
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で面接を実施・見学、修正を行い反復する
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる
教科書	なし
特記	
授業計画	1-3 模擬面接準備（試験種Ⅰ） 4-6 模擬面接（試験種Ⅰ） 7-9 模擬面接準備（試験種Ⅱ） 10-12 模擬面接（試験種Ⅱ） 13-15 模擬面接準備（試験種Ⅲ） 16-18 模擬面接（試験種Ⅲ） 19-21 模擬面接準備（試験種Ⅳ） 22-24 模擬面接（試験種Ⅳ） 25-27 模擬面接準備（試験種Ⅴ） 28-30 模擬面接（試験種Ⅴ） 31-33 模擬面接準備（試験種Ⅵ） 34-36 模擬面接（試験種Ⅵ） 37-39 模擬面接準備（試験種Ⅶ） 40-42 模擬面接（試験種Ⅶ） 43-45 模擬面接準備（試験種Ⅷ） 46-48 模擬面接（試験種Ⅷ） 49-51 模擬面接準備（試験種Ⅸ） 52-54 模擬面接（試験種Ⅸ） 55-57 模擬面接準備（試験種Ⅹ） 58-60 模擬面接（試験種Ⅹ）
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢で評価
備考	模擬面接準備・模擬面接には集団討論対策も含む。開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員専門論作文対策	
実務家教員		
学部・学科	行政ビジネス科 1 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30 時間	
授業コマ数	15 コマ	
授業概要	専門論文・論作文対策について学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	専門・教養の論作文対策から公務に必要な基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	専門論文・論作文演習と解説①
	2	専門論文・論作文演習と解説②
	3	専門論文・論作文演習と解説③
	4	専門論文・論作文演習と解説④
	5	専門論文・論作文演習と解説⑤
	6	専門論文・論作文演習と解説⑥
	7	専門論文・論作文演習と解説⑦
	8	専門論文・論作文演習と解説⑧
	9	専門論文・論作文演習と解説⑨
	10	専門論文・論作文演習と解説⑩
	11	専門論文・論作文演習と解説⑪
	12	専門論文・論作文演習と解説⑫
	13	専門論文・論作文演習と解説⑬
	14	専門論文・論作文演習と解説⑭
	15	専門論文・論作文演習と解説⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	論作文の完成度を中心に取り組み姿勢を含めて総合的に評価	
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅱ	
実務家教員	○	
学部・学科	行政ビジネス科1年制	
履修年次	1年次	
開講学期	通説	
科目区分	選択	
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	15時間	
授業コマ数	8コマ（1コマ120分、最終コマのみ60分です）	
授業概要	各省庁から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う	
授業の進め方	実務経験者による講義を受け、各自研究課題を作成する	
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する	
教科書	なし	
特記	実務経験者による講義を基にした演習	
授業計画	1	実務経験者における講義1
	2	実務経験者における講義2
	3	実務経験者における講義3
	4	実務経験者における講義4
	5	レポート作成1
	6	レポート作成2
	7	レポート作成3
	8	レポート作成4
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考	海保、自衛隊、警察、消防より。開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅲ	
実務家教員	○	
学部・学科	行政ビジネス科1年生	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	15時間	
授業コマ数	8コマ（1コマ120分、最終コマのみ60分です）	
授業概要	官公庁に出向き、講師から得た知識を基に職種研究を行う	
授業の進め方	実務経験者による講義を受け、各自研究課題を作成する	
達成目標	職種研究を通して、公務員の仕事内容を理解する	
教科書	なし	
特記	実務経験者による講義を基にした演習（福井県庁、福井税務署など）	
授業計画	1	実務経験者における講義1
	2	実務経験者における講義2
	3	実務経験者における講義3
	4	実務経験者における講義4
	5	レポート作成1
	6	レポート作成2
	7	レポート作成3
	8	レポート作成4
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある。開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公官庁講話	
実務家教員		
学部・学科	行政ビジネス科 1 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20 時間	
授業コマ数	10 コマ	
授業概要	現役公務員の様々な職種の方の講話を聴き職種への理解を深める	
授業の進め方	現役公務員の話聞き、質疑応答や必要に応じレポートの記入をする	
達成目標	希望職種のみならず幅広い職種を理解する	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	職種別ガイダンス 1
	2	職種別ガイダンス 2
	3	職種別ガイダンス 3
	4	職種別ガイダンス 4
	5	職種別ガイダンス 5
	6	職種別ガイダンス 6
	7	職種別ガイダンス 7
	8	職種別ガイダンス 8
	9	職種別ガイダンス 9
	10	職種別ガイダンス 10
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、提出物の完成度などによって評価	
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法律研究
実務家教員	
学部・学科	行政ビジネス科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30 時間
授業コマ数	15 コマ
授業概要	身近な法律に関する講義を受け、研究および発表を通じて法律の考え方を学ぶ
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う
達成目標	法律の基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする
教科書	なし
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 法律概論（講義） 2 課題の提示（講義） 3 課題①の研究 1 4 課題①の研究 2 5 課題②の研究 1 6 課題②の研究 2 7 課題③の研究 1 8 課題③の研究 2 9 研究発表シナリオ作成 1 10 研究発表シナリオ作成 2 11 研究発表準備 1 12 研究発表準備 2 13 模擬プレゼンテーション 14 研究発表プレゼンテーション 15 研究発表プレゼンテーション
成績評価方法 (試験実施方法)	プレゼンテーションの評価を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	行政研究
実務家教員	
学部・学科	行政ビジネス科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30 時間
授業コマ数	15 コマ
授業概要	災害対策に関する講義を受け、研究および発表を通じて防災への理解を深める
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う
達成目標	災害に関する基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする
教科書	なし
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 災害対策の枠組み（講義） 2 災害対策の実例（講義） 3 課題研究 1 4 課題研究 2 5 課題研究 3 6 課題研究 4 7 課題研究 5 8 課題研究 6 9 研究発表シナリオ作成 1 10 研究発表シナリオ作成 2 11 研究発表準備 1 12 研究発表準備 2 13 模擬プレゼンテーション 14 研究発表プレゼンテーション 15 研究発表プレゼンテーション
成績評価方法 (試験実施方法)	プレゼンテーションの評価を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある。